

Ver 1.0

## オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書

プロジェクト名	千葉県印刷事業者によるマイクロガスタービン型 コージェネレーションを用いた 温室効果ガス排出削減事業
プロジェクト 代表事業者名	株式会社 日商グラビア 赤穂 昌之 印

提出日 2011年3月2日

受理日 年 月 日

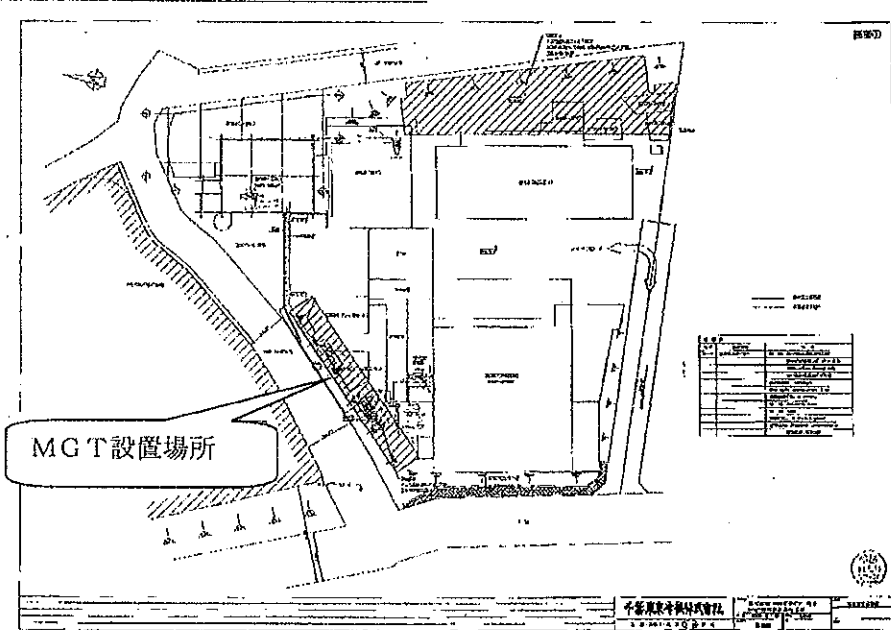
最終版提出日 年 月 日

A 参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	株式会社 日商グラビア (カブシキガイシャ ニッショウグラビア)		
住所	千葉県八千代市上高野 1 4 3 6 - 2		
代表者氏名	赤穂 昌之	担当者氏名	栢澤 英之
担当者所属	開発室	担当者役職	課長
担当者 E-mail	tochizawa@nissio.co.jp	担当者電話番号	050-3369-3389
プロジェクトでの役割	全て		
プロジェクト事業者(排出削減実施事業者) ※2			
事業者名(フリガナ)	株式会社 日商グラビア (カブシキガイシャ ニッショウグラビア)		
住所	千葉県八千代市上高野 1 4 3 6 - 2		
代表者氏名	赤穂 昌之	担当者氏名	栢澤 英之
担当者所属	開発室	担当者役職	課長
担当者 E-mail	tochizawa@nissio.co.jp	担当者電話番号	050-3369-3389
プロジェクトでの役割	全て		
プロジェクト参加者 ※3 ※4			
事業者名(フリガナ)	なし		
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	株式会社 日商グラビア (カブシキガイシャ ニッショウグラビア)		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			
ダブルカウントの防止の措置 ※7			
ダブルカウントの 防止の措置を講ず る事業者	株式会社 日商グラビア (カブシキガイシャ ニッショウグラビア)		
公的な報告・公表制 度	必要に応じオフセット・クレジット(J-VER)制度事務局及び当該公的制度管理者に対して当該情報の提供を行う。		

自主的な報告・公表 対象	ホームページの環境報告書などにおいて、当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出されるオフセット・クレジット(J-VER)の発行量及び移転量を明記する。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------

- ※1: プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2: プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3: プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。
  - ・ 温室効果ガス排出削減活動の実施に際して設備導入等のアドバイスをを行う ESCO 事業者等
- ※4: プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5: オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6: オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7: オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

B：プロジェクト活動の概要①					
項目					
B.1 プロジェクト活動	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>【目的】 VOC(揮発性有機化合物)の処理及びCO2の削減</p> <p>【内容】 マイクロガスタービン型コジェネレーションシステムの導入</p>				
	<p>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</p> <p>蒸気ボイラーは、3 台の印刷機乾燥設備及びエージング室 2 部屋の熱源に使用し、燃料にはA 重油を使用していた。</p> <p>尚、蒸気ボイラー以外の熱源として、2 台の印刷機乾燥設備とドライラミネーター乾燥設備の熱源には、熱風発生装置を使用し、燃料はL P Gを使用していた。</p>				
	<p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>マイクロガスタービン型コジェネレーションシステムを導入する事により、これまで使用していたA 重油ボイラーの燃料と電力会社から購入していた電力の一部を代替し、そのことでCO2 排出量を削減する。</p> <p>尚、熱風発生装置の燃料をL P Gから都市ガス(13A)に転換する事と、マイクロガスタービン型コジェネレーションシステムから発生する蒸気で、熱風発生装置入力側の吸気温度を上げる為、熱風発生装置の燃料が削減されCO2 排出量を削減する。</p>				
B.2 採用技術	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等</p> <p>(プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))</p>				
	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考
	マイクロガスタービン発電機	株式会社 トヨタタービンアンドシステム	15年	平成21年9月	毎時285Kw発電
	排ガス蒸気ボイラー水処理ユニット	三浦工業株式会社	15年	平成21年9月	毎時1.7t処理
	濃縮装置	ニチアス株式会社	15年	平成21年9月	VOCの濃縮

B.3 プロジェクト実施場所	実 施 事 業 所 名	株式会社 日商グラビア
	住 所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 千葉県八千代市上高野 1 4 3 6 - 2
	概 要	<p>(プロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を用いて、プロジェクト実施場所について分かりやすく説明する。その他、別紙「プロジェクト申請方法について」に記載する資料を適宜添付する。)</p> 

B: プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間 ※1		平成21年11月 1日 ~ 平成25年 3月31日 (15年0ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※2		2009年11月 1日 ~ 2013年 3月31日					
B.6 想定排出削減量 ※3	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2		150.0	320.7	320.7	320.7	1112.1
B.7 モニタリング報告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称/補助元	マイクロガスタービン 天然ガスコージェネレーションを用いたVOC (揮発性有機化合物) 処理事業 / 経済産業省・新エネルギー導入促進協議会					
	補助金額 (申請額含む)	67,929,998円					
	補助金の使途	VOC処理事業費の一部					
	補助対象年月日	平成20年11月 1日 ~ 平成21年10月30日					
	補助金を受給していることを証明する書類	(証拠書類の名称を記入し、別紙「プロジェクト申請方法について」の添付資料一覧に補助金交付通知書等を加えた上で、証拠書類を添付する。) 添付資料 (補助金交付通知書)参照					
B.9 他制度への申請 ※4	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)						

備考	<p>① プロジェクトの排出削減量やプロジェクトの実施に影響を与えうる現在もしくは将来的なリスク要因を特定する</p> <p>特になし</p> <p>②各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと)</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※1:2008年4月1日以前に開始されたプロジェクトについて申請する場合には、本制度によるクレジット収益が無ければプロジェクトの継続が困難であることを、別添資料で説明すること。

※2:クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。

※3:想定排出削減量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※4:国内クレジット制度や海外の VÉR 制度等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブ リストの適格性 基準との整合 性	G.1.1 ポジティブ リストの番号	No. E. <u>016 ver.2.0</u>
	条 件	説 明 ※1
	C.1.2 条件1	2009 年のコジェネ導入前の既存のボイラーは、故障や老朽化での更新ではなく、更新直前の 2009 年 8 月まで使用しており継続して利用可能である (A 重油燃料の購入伝票で説明可能)。
	C.1.3 条件2	コジェネレーションで発生させる蒸気 (1.7t) と電力 (285 kW) は、当社工場における需要量 (蒸気需要量 2 t、電力需要量 900kW) を超えないため、全量、当社にて自家消費される。
	C.1.4 条件3	投資回収年数が 28 年以上 $\text{投資回収年数} = \frac{\text{① 2億円4千万円}}{\text{② 1440万円} - \text{③ 600万円}}$ ① コジェネ購入費 3 億 - 補助額 7 千万円 ② 年間エネルギー費用コストダウンは 1,440 万円 ③ メンテ費用等 [600 万円/年]
	C.1.5 条件4	
	C.1.6 条件5	
C.2 適用方法 論	方法論番号	JEAM <u>016 ver.2.0</u>
	方法論名称	コジェネレーション設備の導入

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当する</th> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	該当する	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/>	全く準拠しない		<input type="checkbox"/>	一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/>
該当する	準拠の説明	説明										
<input type="checkbox"/>	全く準拠しない											
<input type="checkbox"/>	一部準拠しない											
<input checked="" type="checkbox"/>	全て準拠する											
C.4 ベースラインシナリオ(BLS)	C.4.1 BLSの特定	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>・既存のボイラーは、重油炊きボイラーで使用できる燃料は、A重油が使用される。</p> <p>(ベースラインシナリオを特定する際に信頼度及び入手可能性が低いデータを使用した場合、特定したベースラインシナリオが適切であることを根拠を以下に説明すること)</p>										
	C.4.2 BLSに関連した温室効果ガス排出源の特定	<p>(リーケージ(プロジェクトの実施により生じるプロジェクトバウンダリー外での温室効果ガス排出量の増加)が想定される場合には以下に説明し、モニタリングプランにおいて定量化すること)</p> <p>特になし</p>										
C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	<p>(削減量の定量化において不確かなデータを使用している場合には、削減量の過大評価がないことを以下に説明すること)</p> <p>特になし</p>										
C.6 備考		<p>(プロジェクトとベースラインシナリオにおける製品又はサービス活動の種類と水準に著しい差異がある場合には以下に説明すること)</p> <p>特になし</p> <p>(ベースラインの設定に関連する事情の変更等により、将来、プロジェクトを中止しなければならない状況が想定される場合にはその旨以下に説明すること)</p> <p>特になし</p> <p>(プロジェクト排出量がベースライン排出量より増加するリスクがある場合にはその旨以下に説明すること)</p> <p>特になし</p>										

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、別紙「プロジェクト申請方法について」の添付資料一覧に整理すること。また、投資回収年数等について記載しきれない場合には、別添資料で説明してもよい。

D その他																																									
D.1 関連する許認可及び関連法令等	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>該当しない</th> <th>該当する</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大気汚染防止法</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>■具体的に:VOCの排出</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>水質汚濁防止法</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>■具体的に:ブロー水処理</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>騒音規制法</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>■具体的に:</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>振動規制法</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>■具体的に:</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>景観法</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/>具体的に:</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>廃棄物の処理及び清掃に関する法律</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/>具体的に:</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>環境影響評価法</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/>具体的に:</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>建築基準法</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>■具体的に:</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>消防法</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>■具体的に:少量危険物取扱所</td> </tr> </tbody> </table>			該当しない	該当する	1	大気汚染防止法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:VOCの排出	2	水質汚濁防止法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:ブロー水処理	3	騒音規制法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:	4	振動規制法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:	5	景観法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に:	6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に:	7	環境影響評価法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に:	8	建築基準法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:	9	消防法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:少量危険物取扱所
		該当しない	該当する																																						
1	大気汚染防止法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:VOCの排出																																						
2	水質汚濁防止法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:ブロー水処理																																						
3	騒音規制法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:																																						
4	振動規制法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:																																						
5	景観法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に:																																						
6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に:																																						
7	環境影響評価法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に:																																						
8	建築基準法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:																																						
9	消防法	<input type="checkbox"/>	■具体的に:少量危険物取扱所																																						
D.2 環境影響評価及び環境測定	<p>(法令等によって実施が求められていない場合は省略可)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VOC排出濃度測定</li> <li>・ ばい煙排出濃度検査</li> <li>・ ボイラー年次点検</li> </ul>																																								

D.3 住民説明会の 実施状況	(法令等によって実施が求められていない場合は省略可)  特になし
--------------------	----------------------------------------